

ISSN 0385-7476
SSK

165
2000
January



その研究と情報

1 特集◎

座談会「雇用連の20年、そして明日へ」

田中章治／橋本宗明／馬渡藤雄／高橋 実

21 ルポ◎

韓国点字図書館創立30周年 陸 根海

28 ボランティア最前線◎

デジタル編集協議会「ひなぎく」 中村 芬

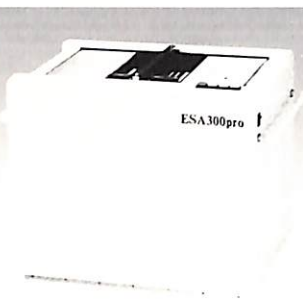
32 連載◎

英国高等教育における 障害者の学習支援システム (1) 広瀬洋子

40 インフォメーション・コーナー

盲人用情報機器シリーズ

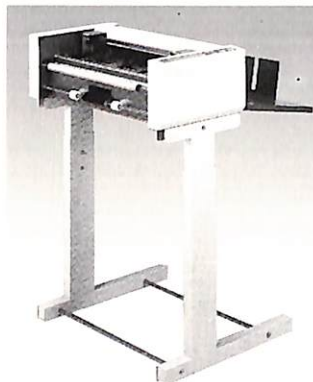
品質の良さは納入先に表れます。



ESA300Pro
点字ラインプリンタ
1ページ5秒!
最高速の業務用
点字ラインプリンタ

日本最高速の印刷スピードと両面印刷を実現。32マス22行をわずか5秒で打ち出し、ラインプリンタにありがちな紙のよれもなく、すばやく美しく仕上がります。

V-500 大量の用紙カットも、スムーズ&スピーディー



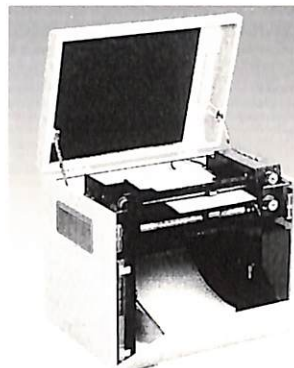
ページエンドと片耳(両耳) カット同時で1,000枚が15分で完了。操作状況が一目でわかる液晶パネル、ページとばし防止ストッカーなどかんたん操作で使いやすく、音も静かです。

PORTA-THIEL ポータ・ティール日本仕様 机の隣に一台、気軽なパーソナル・プリンタ



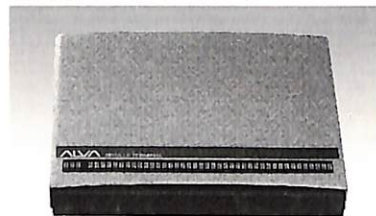
点字プリンタでは世界的信頼を誇るドイツ・ティール社との提携で生まれた、コンパクトサイズのパーソナルプリンタ。日本点字規格への対応はもちろん、すべて日本仕様です。

ESA721 点字プリンタ・プロッタ 点図表現も思いのまま。 定評ある高性能&多機能型



高速印字はもちろん、3点方式による点作図プロッタ機構(世界初)の搭載で、すぐれたグラフィック表現が可能。音も静かで、広くご愛用いただいています。

ALVA BRAILLE TERMINAL ABT-340 (40+3キャラクター) 世界標準にアクセスできる 点字用ビンディスプレイ



MS-DOSをはじめIBM/OS2、ウィンドウズにも対応。オランダ・アルバ社特許のタッチカーソルにより、優れた操作性を実現しました。小型軽量で、ノートパソコンにも最適です。

各機器についての詳細、
その他取り扱い機器については、
弊社まで資料をご請求ください。

有限会社 ジェイ・ティー・アール
東京都北区浮間4-17-4

Tel.03-5392-0414 Fax.03-3967-8254



JTR Corporation

岩山光男さんに黄綬褒章

昨年秋の褒章で、名古屋ライトハウス理事長・岩山光男さんに黄綬褒章が贈られました。

岩山さんは1927年生まれ。南山大学卒業後、現在の名古屋ライトハウス名古屋盲人情報文化センターの前身・あけの星声の図書館を設立。以来、視覚障害者のための図書館活動に従事し、1996年5月からは名古屋ライトハウス理事長に就任されています。

祝 黄綬褒章受賞 岩山光男氏



1月9日、名古屋市内で、有志によって開かれた褒章を祝う会

チャレンジで初の文化講演会

視覚障害者就労訓練施設チャレンジでは、去る1月29日、地元杉並区において啓発活動の一貫として、区と区社協の後援を得て、発足来初の文化講演会を開催しました。



分かりやすい曲を、と
小品を演奏する南沢さん



講演壇上で話される阿由葉さん

第1部では、「視覚障害者の就労について」と題し、チャレンジ代表・高橋 実氏が講演。第2部では、武蔵野音楽大学大学院の南沢創（みなみさわはじめ）さんが、トークを交えながらバイオリン演奏を披露、第3部は、都立久我山盲学校教諭の阿由葉綾子（あゆは あやこ）氏が、「ネパールの教育実践からみた視覚障害者の職業と生活実態」と題して講演されました。



現地ブラインドセクション教員対象
講習会にてガード歩行の説明



同講習会にて歩行指導

阿由葉さんは1996年、青年海外協力隊員としてネパールに赴き、2年間、ポカラ市の視覚障害部門のある学校で生徒への指導と教員へのアドバイスや講習会の開催、近隣視覚障害児クラスへの巡回指導等にあたられました。講演では、現地の視覚障害事情について、その国柄・教育制度・支援等を中心に、スライドを用いて紹介されました。

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

世はまさにインターネット時代、これを利用してショッピングする人も少なくないようです。先日の新聞記事には「マイホームの購入もインターネット」とあり、その拡大ぶりに驚かされます。一方、ある航空会社では、航空券の購入においてインターネットを利用した場合、その割引率を大きくするとしています。この種の方法を採用する企業は確かに増加しているようです。これでは、インターネットを使う者とそうでない者との間に格差が生じます。さらに、使いたくなくても、その環境が充分でない者にとっては、大きな問題となります。これに該当する視覚障害者の場合はどのようなになっているのでしょうか？ 次号ではこれらをも含め、99年の情報処理関係の動向を年報としてお伝えします。また、本号で掲載した広瀬洋子さんによる「英国高等教育における障害者の学習支援システム」は、5回にわたって連載します。どうぞご期待ください。(立花明彦)

視 覚 障 害

2000年1月 No.165

年間購読料

4,200円(送料とも)

発行日 2000年1月1日

編集人 立花 明彦

(連絡先) 日本盲人福祉研究会(文月会)

〒167-0043 東京都杉並区上荻2丁目37番10号
Keiビル3階

電話 (03)5310-5051(代)

FAX (03)5310-5053

<http://www.normanet.ne.jp/~fumizuki/>

振替口座 00160-4-16103

発行人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

印刷所 株式会社 大活字

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-1-9

電話(03)5282-4361